

138 【ダム竣工式典における市長謝辞】

青野ダム竣工10周年記念「せんじょうじ湖」 昭和63年6月

昭和42年6月、三田市議会で青野ダム建設が決議され、同年9月、兵庫県の手で建設計画が発表されてから指折り数えて、今日迄21年。総工費400億、総貯水量1500万t、蒼々と水を湛えた千丈寺湖(青野ダム)を前にして、本日建設大臣、国会議員、兵庫県知事をはじめ国、県、市の要路の方々のご来臨を仰ぎ、地元地権者の方々のご参列のもと、青野ダム竣工式典が盛大に開催頂ました事は、地元市長として感慨ひとしお、感謝に堪えない所であります。

この青野ダム建設の歴史は、まさに三田市の歴史そのものであり、ダム建設の苦難の道程は三田市の生まれ出ずる苦しみでありました。

長く苦しいトンネルを抜けて、昭和58年3月、ダム堤体の建設の槌音と共に三田市に新しい展望が開けて参りました。

今日のダム完成式は、感涙にむせぶものであります。

振り返ってこの喜びに至る迄、21年の長い歳月の間に、このダム建設に投じられた数知れない沢山の人々の努力とご支援に、どうしてお礼と感謝の真心をお伝えしたらよいのでしょうか。

自ら文字通り先頭に立って現地まで度々お運び頂いて指揮をとって下さった歴代の知事、副知事。

全組織をあげてご尽力頂いた県の各機関の方々。

惜しみないご指導、ご支援を頂いた県議会、国会の諸先生方。

ここに市の命運をかけて必死に取り組んで頂いた歴代市長や、人はかわっても全会あげてご協力頂いた市議会の議員の方々、どんなにお礼とねぎらいをかけても尽きないのは、現地のダム建設事務所の職員の方々です。長年月、夜も昼もない、少しでも前進をと、地元の方々との一つ一つ、一日一日の根気強い対話と誠意と信頼の積み重ねが、この巨大なダムに生まれ代わりました。本当にご苦労さまでした。

さて、地権者をはじめ地元の皆さん、一番あとになりましたが、それはゆっくりにお礼を申し上げたかったからです。

87戸の水没移転を含んで326人の地権の皆さん、この竣工式を前に私は昭和42年のダム建設計画発表以来、今日迄の県、市と皆さんとの交渉の日々の歴史、出来事を感慨込めて紐といてみました。

地権者会、反対期成同盟、ダムサイト協議会基本協定、価格協定、生活再建覚書…等々、長い間本当にご苦労さまでした。よくご協力を頂きました。心からお礼申し上げます。

このダムは希にみる都市近郊型ダムで、この地域は早くから豊かな文化と恵まれた生活環境の土地柄でした。それだけに水没という事は堪えがたく、必死の拒否、抵抗は痛い程分かり、また当然とも思えました。それぞれの家庭で、地域で、この未曾有の変革に対して思い悩まれた長い日々であったと思います。

それだけに、このダム建設によって皆さんが犠牲になることがあってはならない。私も必死になって皆様の気持ちを知事に訴えました。知事の温かいお気持ちを頂き皆様の熱意が通じ、生活再建対策と地域整備に最大のご努力とご配慮を頂き、ダム対策としては稀に見る環境が実現し、この村々に平和が戻って参りました。

よかったなあ、やれやれと思うとともに本当に県当局にも感謝しております。緑にけむる水面を眺め岸辺に立つ新しい家々、青々とした改良田を眺めながら、今日の日を迎えることなく思いを残して先立たれたあの人、あの顔を思い浮かべております。

この青野ダムの完成がどんなに重要な意味を、どれだけの力を三田市にもたらしてくれたか今更申し上げる必要もありません。

北摂三田ニュータウンに新しい家々が次々に建ち始め、上水道、下水道が市内に建設が進められました。

宝塚まできて動かなかった福知山線の複線電線化工事が再開され、三田駅がモダンな橋上駅になり、新三田駅も出来ました。市内至る所で土地改良事業も急速に進み、教育施設の整備も速度を増しました。

三田市の新しい市づくりが堰を切って流れを増し、本年は市制30周年を迎え、三田市の新しい未来を目指して華やかに21世紀公園都市博が開催されております。三田市は今や県下でも、いや全国でも有数の発展を囑望される市になろうとしています。

感慨はつきませぬがすべての人に心から重ねてお礼申し上げ、謝辞と致します。

ダムの目的

1) 洪水調節

ダム地点の計画高水量 580m³/S のうち、380m³/S の洪水調節を行い、下流 6 市 (三田市、神戸市、宝塚市、伊丹市、西宮市、尼崎市) の沿川約 31km² の水害を防止します。

2) 流水の正常な機能の維持

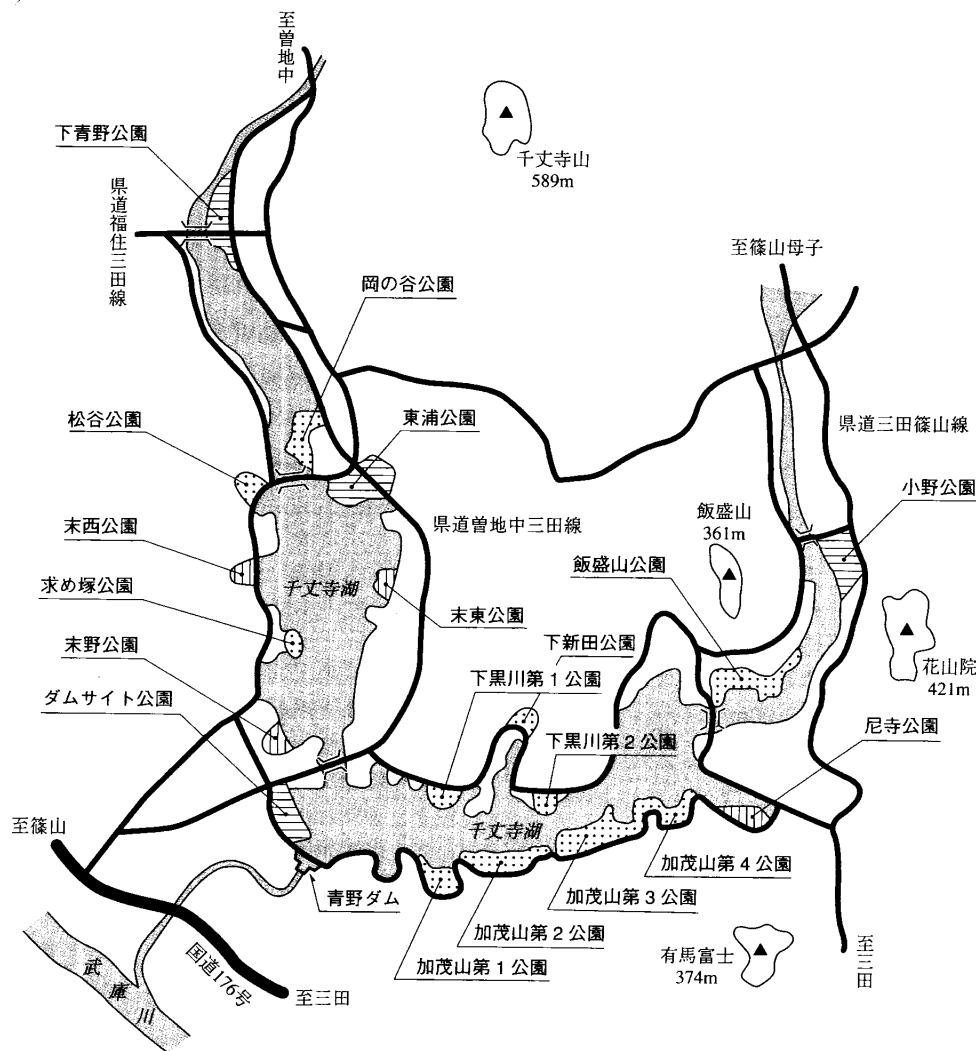
ダム地点下流の武庫川沿川農地の既得かんがい用水および既得上工水の補給と流水の正常な機能の維持と増進をはかります。

3) 上水道用水

三田市街地および北摂三田、北神ニュータウン地区の上水道用水として、三田市西野上地点において 92,000m³/ 日の用水を取水し、87,400m³/ 日の水道用水を供給します。

(中略)

貯水池周辺環境整備平面図



森と湖のまつり 7月22日

「さわやかな 心のオアシス 森と湖」をテーマに、森と湖のまつりが7月22日(日)午後2時から青野ダムサイト公園で開催されます。ご近所・ご家族お誘い合わせのうえ多数ご参加ください。

千丈寺湖は、北摂三田、北神ニュータウンの飲料水確保と農、工業用水の供給などのために昭和63年に完成。

北摂三田ニュータウンの建設が始まって20年を迎え、建設省などが実施している「森と湖に親しむ旬間」(21日~31日)に合わせ市民交流事業としてまつりが開催されるものです。

青野ダム周辺を心のオアシスに

ごみ持ち帰り運動にご協力を

現在、青野ダム周辺には8箇所の公園が整備され、水と緑に親しむべく、各方面から多数の来訪者がありますが、休日明けともなるとゴミ・空カン等が散乱し、付近住民に大きな迷惑がかかっているのが実態です。

今回のまつりを通して、当青野ダム周辺がここらのオアシスとして憩えるようゴミの持ち帰り運動を実施し、環境美化につとめましょう。

森と湖のまつりプログラム

| 場 所 | 行 事 |
|-----------|-----------------------------|
| ダムサイト公園周辺 | 千丈寺湖市民交流写生会 |
| ダムサイト | ダム放流 ダム施設見学とパネル展示 |
| 千丈寺湖 | モーターボート千丈寺湖巡視 |
| ダム下流部 | 魚のつかみどり |
| ダムサイト公園 | 農産物の紹介 青空市 模擬店 お茶会 |
| 水上ステージ | 音楽の夕べ |
| ダムサイト公園 | 風せん飛ばし |
| 水上ステージ | 写生コンクール表彰など |

○プログラムは行事と場所のみを掲出。

「三田市史」を読む会現代資料編 第3回
「青野ダム」が三田市にもたらしたものの
資料4